

お知らせ

令和4年3月1日（火）
一般社団法人 日本蕎麦協会

令和3年度第33回全国そば優良生産者、農林水産大臣賞

ほかの受賞者、集団の決定について

一般社団法人日本蕎麦協会主催の「令和3年度第33回全国そば優良生産表彰事業」による農林水産大臣賞ほか各賞を、下記のとおり決定いたしました。

なお、表彰式は、新型コロナウイルス感染症の感染状況が不透明なため中止とし、受賞者には表彰状・副賞をお送りいたします。

記

1 受賞者

別紙のとおり

(参考) 全国そば優良生産表彰事業の概要

目 的：国産そばの生産を奨励し、消費者へ良質なそばを安定的に提供するため、低コスト・品質向上などの面で模範となる生産農家及び生産集団を表彰し、その成果を広く紹介・普及する（平成元年度から実施、今回で33回目）。

成 果：これまで、品質・生産性向上に努力した生産農家及び生産集団が受賞し、6次産業化、ブランド化の成功にもつながったほか、地域のそば振興のモデルとなっている。

農林水産大臣賞の受賞者の特色：在来種の特徴を生かした栽培と、栽培品種においても高品質化を目指す取り組みなど、地域の様々な知恵を結集していること、作付面積・収量ともに好成績である点が評価された。

主催：一般社団法人 日本蕎麦協会

後援：農林水産省、全国農業協同組合中央会、日本農業新聞

協賛：一般社団法人 日本麺類業団体連合会、全国蕎麦製粉協同組合、全国農業協同組合中央会、玄蕎麦流通協議会

お問い合わせ先

一般社団法人 日本蕎麦協会

電 話 03-3264-3801

F A X 03-3264-3802

メール info @ nihon-soba-kyokai. or. jp

U R L <http://www.nihon-soba-kyokai. or. jp>

(別紙)

令和3年度第33回全国そば優良生産表彰受賞者一覧

令和4年2月21日 審査委員会決定

表彰の種類	受賞者名	所在地
農林水産大臣賞	信州そば発祥の地 伊那 そば振興会	長野県伊那市
農林水産省農産局長賞	はら農場 原 大知	北海道新得町
一般社団法人 全国農業協同組合中央会会長賞	長畑農産物生産組合	栃木県日光市
	農事組合法人中島農産	福井県永平寺町
一般社団法人 日本麺類業団体連合会会長賞	農業生産法人株式会社荒川アグリ 代表取締役 荒川 一幸	茨城県古河市
	長島 剛	茨城県桜川市
	農業生産法人おたに家株式会社 代表取締役 今村 康薦	宮崎県高千穂町
全国蕎麦製粉協同組合理事長賞	植田 清夫	福島県喜多方市
一般社団法人 日本蕎麦協会会長賞	農事組合法人石沢そば郷里の会	秋田県由利本荘市
	ライジングファーム株式会社 代表取締役 張 貴雲	茨城県小美玉市
一般社団法人 日本蕎麦協会奨励賞	農事組合法人はっぽう農園	秋田県八峰町
	伊原 九十九	栃木県日光市
	農事組合法人中新庄みのりファーム	福井県越前市
	田村市常葉そば生産・製粉研究会	福島県田村市
	田上 博三	宮崎県高千穂町

農林水産大臣賞

氏名・集団名	信州そば発祥の地 ^{いな} 伊那 ^{いじま} そば振興会（会長 ^{いじま} 飯島 ^{すすむ} 進）構成農家戸数＝183戸
所在地	長野県伊那市
立地・生育条件	伊那市は長野県の南部に位置し、「入野谷在来」を栽培する長谷浦地区は南アルプス山麓。「信濃1号」の高品質栽培に取り組む西箕輪地区は中央アルプス山麓。年平均気温12℃、年間降水量1,550mm。
年産	令和2年産
品種・単収・品質	入野谷在来(77kg/10a・1等)、信濃1号(高品質栽培)(123kg/10a・1等)、信濃1号(通常栽培)(112kg/10a・1等)
そば作付面積	330.0ha
収穫量	371,132kg
労働時間	4.17時間/10a
生産費	38,470円/10a
機械化の現状	耕うん機、トラクター、ブロードキャスター、ロータリーシーダー、コンバイン
作付体系	夏そば～秋そば(2期作)
経営上の割合等	玄そば販売平均12,000円/45kg(入野谷在来)平均10,336円/45kg(信濃1号)、種子販売平均23,082円(信濃1号)＜対経営全体比100%＞
出荷状況	高遠そば組合(入野谷在来)、JA上伊那(信濃1号)
技術上の工夫	<p>【入野谷在来】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての元種となる種子を保存するための原種圃場を設置している。 ・食用ソバ生産用の種子を増殖する原種圃場と生産量を確保するための圃場を設置している。 ・山間地での栽培のため鹿等の食害を防ぐため防護柵を設置している。 ・信州大学、行政及び生産者が連携し、系統選抜の実施や栽培方法の研究を行っている。 <p>【信濃1号】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産物中のたんぱく質を高め、風味を高めることを目的に畜産堆肥や活性汚泥といった緩効性の有機質を多量(4t/10a)施用する。 ・畜産堆肥は、圃場近くの酪農家から提供された耕畜連携の取組み。また、活性汚泥は伊那中央衛生センターで製造される下水道汚泥由来の物であり、無料で提供されることから低コストで高品質を目指す目的に合致する。 ・施肥により広域適応品種である「信濃1号」でも他の有名在来品種に匹敵するような高い成分含量を持ったそばが生産できることを実証し、マニュアル化された。
経営上の特徴	<p>世界初の品質情報に基づく生産に力を入れている。</p> <p>【入野谷在来種】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「入野谷在来」の地域団体商標及び地理的表示(GI)の登録を検討していく。 ・耕作放棄地を中心に作付けし、農地の荒廃化の防止を目指している。 ・自家製粉が可能なそば店に限定して出荷している。 <p>【信濃1号】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年より信州大学の指導により「信濃1号」の品質向上目的とした試験栽培を実施。栽培したそばを信州大学が成分分析し、生産物中の「タンパク質」と「脂質」の含有量から高品質と評価された栽培方法を「プレミアム栽培指針」としてまとめJA上伊那が普及を図っている。 ・JA上伊那が近赤外成分計を導入し、集荷した全生産物の成分を計測している。(令和2年度検査件数1,087件)また、さらなる情報にもとづく農業生産システム作りを目指し、最先端の蛍光による風味評価装置の導入も検討している。 ・上記の検査結果は、全ての生産者に通知している。生産者段階まで情報を共有することで地域全体での品質向上を目指している。
今後の課題	<p>【入野谷在来】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国に向けた一般販売を行うために商標登録及び生産量と品質の安定化対策を確立していく。 <p>【信濃1号】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「プレミアム栽培指針」に基づく高品質、高収益栽培の普及・促進 ・今後は更に乾燥前の高水分時における成分分析技術も向上させることにより、乾燥段階からの品質別流通システムの確立を目指す。

農林水産省農産局長賞

氏名・集団名	はら農場 <small>はら だい ち</small> 原 大 知
所在地	北海道上川郡新得町
立地・生育条件	新得町は十勝平野の西端に位置し、平坦地の排水性は明・暗渠で確保している。年平均気温7℃、年間降水量約1,130mm。台播種後少雨だったものの、開花・受粉は良好であった。
年産	令和2年産
品種・単収・品質	キタノマシユウ(175kg/10a・1, 2等)、牡丹そば(96kg/10a・2等)、キタワセソバ(152kg/10a・2等)
そば作付面積	14.0ha (畑14.0ha)
収穫量	20,447kg
労働時間	3.33時間/10a
生産費	29,576円/10a
機械化の現状	プラソイラー、ブロードキャスター、バーチカルハロー、ドリルシーダー、汎用コンバイン
作付体系	そば単作
経営上の割合等	玄そば販売平均14,400円/45kg<対経営全体比:100%>
出荷状況	瀬戸内商事、契約そば店、6次加工品
技術上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・排水対策・湿害対策：プラソイラーの施工による心土破碎、溝掘機を活用した額縁明きよを設置している。 ・倒伏防止策：倒伏しやすい散播を避け、ドリルシーダーによる条間15cmの条播を実施している。 ・地力維持：土壌診断の実施、クローバーの混植、町内のバイオガスプラントから産出された消化液の施用による窒素地力の維持確保を図っている。 ・種子更新：篩い目5mm以上・容積重680g/lとする種子予措の実施、定期的な種子更新を行っている。 ・優良品種導入：作付けされている品種はいずれも北海道優良品種である。 ・収穫物の乾燥方法：赤外線循環式乾燥機の制御プログラムはそば用を使用するほか、作業時の気温プラス5℃の送風温度による低温乾燥を実施し、風味等の品質保持に配慮している。 ・収穫物の調製方法：収穫物は乾燥実施前に粗選別を行い、乾燥後に唐箕選、比重選別、石抜きを実施している。全ての工程を経営主が自分で行き、品質に納得できる製品の出荷に尽力している。 ・その他：農薬、化学肥料を使用しない栽培を実践している。
経営上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・機械化推進・作業効率化：限られた資金力のなかで効率的な作業を進めるため、中古農機具の調達と自らメンテナンスを行っている。 ・コスト低減：土壌診断結果に基づく施肥を行うとともに、施用する有機物は全て地域内の畜産農家から調達し、耕畜連携ならびに輸送コストの低減を図っている。収穫物の乾燥・調製を経営主が自らが行き、外部委託の場合に要するコストを低減している。 ・作付体系：連作が可能なそばの単作経営とするなかで、栽培管理作業の徹底と新規就農後の経営の安定化を図っている。 ・契約栽培・地域活性化・6次産業化：原氏の経営における最大の特色である。原氏のそばづくりに共感したそば店との契約栽培を通じた安定的な販路を確保している。また、委託加工によるそば粉や乾そばを「原氣蕎麦」ブランドで販売している。さらに、そば・麦芽・ホップを原料にした発泡酒「SOBACO」を委託醸造し、自ら酒類卸売業免許を取得した上で販売している。「原氣蕎麦」「SOBACO」はふるさと納税制度の返礼品としても活用され、新得町の特産品振興や地域振興に大きく貢献している。なお、原氏の収穫物の乾燥・調製技術は、玄そばの自主販売を行う道内他地域のそば生産者からの評価も高く、技術提供を通じて北海道内のそば生産振興にもつながっている。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の作付計画：作付けを中断していた「レラノカオリ」（北海道優良品種）を再開するほか、新品種「キタミツキ」（農研機構北海道農業研究センター育成、北海道優良品種）の作付けを計画している。 ・技術改善：例年、発芽率確保のため播種機の調整には細心の注意を払っているが、経年劣化による播種深度のばらつきが避けられないことから、資金の内部留保を図りつつ播種機を更新していく。また、新品種の導入にあたっては、農業改良普及センター等の指導機関と連携し、品種に適した栽培技術の早期習得を図る。 ・経営改善：新型コロナウイルス対策にとともなう外食需要の減少により、契約販売分を中心に玄そばの在庫量が増加している。契約販売先への営業活動を強化するとともに、商品価値の高い半生そば等の新商品開発を目指す。

一般社団法人全国農業協同組合中央会会長賞

氏名・集団名	^{ながはた} 長畑農産物生産組合（組合長 ^{とみた たけみつ} 富田 武光）構成農家戸数＝43戸
所在地	栃木県日光市
立地・生育条件	日光市は栃木県北西部に位置し、ほ場のある長畑地区の標高は280m、西沢川・長畑川の川沿い。水田が主体だが排水性は良好。年平均気温12℃、年間降水量1,950mm。
年産	令和3年産
品種・単収・品質	在来種(81kg/10a・1等)
そば作付面積	18.5ha 〈田17.0ha・畑1.5ha〉
収穫量	14,985kg
労働時間	1.80時間/10a
生産費	15,483円/10a
機械化の現状	ブロードキャスター、トラクター、ロータリー、シーダー、ミスト機、汎用コンバイン
作付体系	田:そば～菜花・そば単作、畑:そば単作
経営上の割合等	玄そば販売平均16,000円/45kg<対経営全体比100%>
出荷状況	地元そば店、大手製粉会社

一般社団法人全国農業協同組合中央会会長賞

氏名・集団名	農事組合法人中島農産（代表理事 ^{なかじま たんぼ よしかず} 反保 敏一）構成農家戸数＝43戸
所在地	福井県吉田郡永平寺町
立地・生育条件	永平寺町は福井平野の東端に位置し、集落の土壌は灰色低地土で排水性良好で、30a以下の小区画ほ場が多い。年平均気温13℃、年間降水量2,282mm。播種後の降雨量が少なく苗立良好であった。
年産	令和2年産
品種・単収・品質	大野在来(130kg/10a・1等)
そば作付面積	3.9ha 〈田3.9ha〉
収穫量	5,087kg
労働時間	6.50時間/10a
生産費	37,810円/10a
機械化の現状	トラクター、溝切機、ロータリー、刈払機
作付体系	水稻～小麦～そば・そば単作
経営上の割合等	玄そば販売平均3,150円/45kg<対経営全体比15%>
出荷状況	JA福井県

一般社団法人日本麺類業団体連合会会長賞

氏名・集団名	農業生産法人株式会社荒川 ^{あらかわ} アグリ 代表取締役 荒川 ^{あらかわ} 一幸 ^{かず ゆき}
所在地	茨城県古河市
立地・生育条件	古河市は茨城県西部に位置し、ほ場は東山田地区を中心とした畑で排水性は高い。古河市は県内市町村では3番目の作付面積がある。年平均気温16℃、年間降水量1,209mm。
年産	令和3年産
品種・単収・品質	常陸秋そば(63kg/10a・1,2等)
そば作付面積	21.0ha 〈畑21.0ha〉
収穫量	13,230kg
労働時間	1.67時間/10a
生産費	7,731円/10a
機械化の現状	サブソイラー、ロータリー、シーダー、汎用コンバイン
作付体系	馬鈴薯～そば
経営上の割合等	玄そば販売平均18,000円/45kg、そば粉販売平均1,080円/kg<対経営全体比20%>
出荷状況	そば店等への直接販売

一般社団法人日本麺類業団体連合会会長賞

氏名・集団名	ながしま ^{ながしま} つよし ^{つよし} 長島剛
所在地	茨城県桜川市
立地・生育条件	桜川市は茨城県中西部に位置し、ほ場は大国玉地区を中心に位置し、概ね平坦。年平均気温14℃、年間降水量1,212mm。降雨による影響を受けた。
年産	令和3年産
品種・単収・品質	常陸秋そば(72kg/10a・1,2等、種子:合)
そば作付面積	42.8ha 〈田27.3ha・畑15.5ha〉
収穫量	30,802kg
労働時間	1.37時間/10a
生産費	36,435円/10a
機械化の現状	ブロードキャスター、ロータリー、シーダー、スタブルカルチ、グレンドリル、スライドモア、汎用コンバイン
作付体系	田:水稲～麦～そば(大豆)、畑:麦(馬鈴薯)～そば(大豆)(輪作体系)
経営上の割合等	玄そば販売平均11,425円/45kg<対経営全体比15%>
出荷状況	そば店への直販、集荷業者

一般社団法人日本麺類業団体連合会会長賞

氏名・集団名	農業生産法人おたに ^{おたに} 家株式会社 代表取締役 今村 ^{いまむら} 康 ^{やす} 薦 ^{のぶ}
所在地	宮崎県西臼杵郡高千穂町
立地・生育条件	高千穂町は宮崎県の西北部に位置。地質は全体的には火山灰系の土壌が大部分で、ほ場は標高800mの場所に位置し、高原地帯の傾斜地。年平均気温15℃、年間降水量2,372mm。
年産	令和2年産
品種・単収・品質	高千穂在来(99kg/10a・1等)、椎葉在来(83kg/10a・1等)
そば作付面積	4.0ha 〈田0.7ha・畑3.3ha〉
収穫量	3,599kg
労働時間	9.87時間/10a
生産費	68,781円/10a
機械化の現状	トラクター、播種機、刈払機、コンバイン
作付体系	田:そば～飼料、畑:そば単作
経営上の割合等	玄そば販売平均31,500円/45kg、抜き実販売平均49,755円/45kg、そば粉販売平均1,100円/kg<対経営全体比25%>
出荷状況	自社使用・県内外そば店

全国蕎麦製粉協同組合理事長賞

氏名・集団名	う え だ せい お 植 田 清 夫
所在地	福島県喜多方市
立地・生育条件	喜多方市は福島県北西部の会津盆地の北部に位置し、ほ場は土地改良事業で整備されているが排水性が悪い。年平均気温11℃、年間降水量1,200mm。日照不足と長雨の影響を受けた。
年産	令和2年産
品種・単収・品質	在来種(夏)(42kg/10a・2等)、在来種(秋)(61kg/10a・1,2等)
そば作付面積	54.4ha 〈田14.2ha・畑40.2ha〉
収穫量	31,768kg
労働時間	1.75時間/10a
生産費	33,533円/10a
機械化の現状	バックホー、播種同時施肥機、ブロードキャスター、ロータリー、汎用コンバイン
作付体系	夏そば～秋そば～緑肥(小麦)
経営上の割合等	玄そば販売平均4,088円/45kg(夏)、平均3,575円/45kg(秋)〈対経営全体比100%〉
出荷状況	JAあいつよつば、個人販売等

一般社団法人日本蕎麦協会会長賞

氏名・集団名	農事組合法人石沢そば郷里の会（代表理事 井島 市太郎）構成農家戸数=4戸
所在地	秋田県由利本荘市
立地・生育条件	由利本荘市は秋田県南西部に位置し、ほ場は点在し排水性が悪い。年平均気温13℃で比較的温暖。明・暗渠の設置により湿害が減少した。
年産	令和3年産
品種・単収・品質	階上早生(夏)(29kg/10a・1等)、階上早生(秋)(101kg/10a・1等)
そば作付面積	104.5ha〈田103.3ha・畑1.2ha〉
収穫量	103,373kg
労働時間	1.83時間/10a
生産費	15,604円/10a
機械化の現状	溝堀機、グラブソワー、トラクター、刈払機、汎用コンバイン
作付体系	そば単作(2期作)
経営上の割合等	玄そば販売平均4,860円/45kg<対経営全体比:35%>
出荷状況	㈱そば研

一般社団法人日本蕎麦協会会長賞

氏名・集団名	ライジングファーム株式会社 代表取締役 張 貴 雲
所在地	茨城県小美玉市
立地・生育条件	小美玉市は茨城県県央に位置し、地表は概ね関東ローム層に覆われ、起伏が少なく平坦。年平均気温16℃、年間降水量1,390mm。播種後の降雨による発芽不良、受粉不足による減収となった。
年産	令和3年産
品種・単収・品質	常陸秋そば(73kg/10a・1,2等)
そば作付面積	14.9ha〈田0.1ha・畑14.8ha〉
収穫量	10,800kg
労働時間	2.75時間/10a
生産費	37,405円/10a
機械化の現状	バイブルソイラー、トラクター、ロータリー、グリーンシーダー、乗用管理機、汎用コンバイン
作付体系	そば単作
経営上の割合等	玄そば販売平均8,650円/45kg、抜き実販売平均649円/kg、そば粉販売平均760円/kg<対経営全体比29%>
出荷状況	地元そば店、地元直売所

一般社団法人 日本蕎麦協会奨励賞

「一般社団法人 日本蕎麦協会奨励賞」は、2次審査において各賞の対象とならなかった候補者について、他の模範となる生産者として、今後の経営の発展を期待して贈呈することといたしました。奨励賞受賞者については、来年度以降、作付面積・収量・生産技術・経営・取り組みなどについて発展が見られた場合には再度表彰事業への応募が可能となります。

<令和3年度第33回 一般社団法人 日本蕎麦協会奨励賞>

農事組合法人はっぼう農園（代表理事 米森 雄大）	秋田県山本郡八峰町
田村市常葉そば生産・製粉研究会（会長 早川 栄二）	福島県田村市
伊原 九十九	栃木県日光市
農事組合法人中新庄みのりファーム（代表理事 中條 嘉久）	福井県越前市
田上 博三	宮崎県西臼杵郡高千穂町